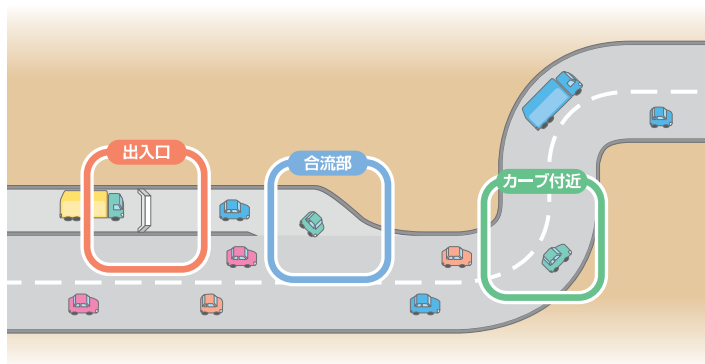


急カーブ、出入口での事故を未然に防ぐために 徹底した安全対策設備を採用しています。



出入口

■ 誤進入対策および逆走感知

赤外線カメラ 拡声装置



高速道路内への歩行者や逆走車両の進入を防ぐため、出入口に歩行者・自転車・125cc以下の自動二輪車の進入禁止表示を設置しました。また新たな取り組みとして、出入口に赤外線カメラを設置し、車両と歩行者を画像処理で見分け、拡声装置や表示板による注意喚起を行います。

合流部

■ 合流支援情報板



トンネル入路の走行車両をセンサーが感知し、本線側に設置した情報板に「合流車有」などの表示を行い、合流部での注意喚起を行います。

合流車両がない時



切り換え

合流車両検知時



カーブ付近

■ 速度抑制効果を期待したトンネル壁面デザイン



鳥屋のカーブ手前の直線区間の壁面に、速度抑制効果を期待したトンネルデザインを施しました。トンネル内に施した一連の模様の間隔を調整することにより、心理的に運転者に速度抑制を促します。

■ ポーラスコンクリート舗装



トンネル内に流入した雨水によるスリップ防止として、トンネル入口から最初のカーブ区間に排水・透水性に優れたポーラスコンクリート舗装を施しました。大型車の通行が多い重交通路線で、1万㎡を超える大規模施工は日本初です。

■ 速度超過車両警告システム



トンネル入口手前で、走行車の速度を計測し、「速度落せ」などの注意喚起をトンネル・坑口警報板で行います。

■ 大型警戒標識



急カーブにさしかかる地点に大型の警戒標識を設置します。急カーブを直感的に認識可能なデザインにより、効果的に注意喚起を行います。

■ マルチカラー点滅灯



従来から、事故の多いカーブに設置していたマルチカラー点滅灯を、トンネル内カーブにも設置します。点滅の模様や色のパターンを変えることにより、効果的に注意喚起を行います。